

平成18年3月28日  
農林水産技術会議事務局  
研究開発企画官室

## 「農林水産研究における人材育成プログラム」(案)のポイント

### 1. 人材育成プログラム策定の意義

- ・「農林水産研究基本計画」：具体的な人材育成プログラムの策定と計画的な実施
- ・総合科学技術会議の第3期科学技術基本計画の検討：「モノから人へ、機関における個人の重視」という基本姿勢を踏まえた研究者の育成
- ・研究の周辺環境の高度化、専門化に合わせ、研究者に加え研究管理者、研究支援者の育成も重要
- ・本プログラムを踏まえ、研究独法をはじめ企業、大学、都道府県等の研究機関が各機関に適した人材育成プログラムを策定することを期待

### 2. 人材育成プログラムの策定・実施における基盤的事項（主要事項抜粋）

- ・行政部局との密接な連携、適切な人事配置と人材育成
- ・多様な雇用形態に対応した研修プログラム等の検討と人事交流の円滑化
- ・効率的な若手・中堅研究者の育成強化と再雇用者の活用
- ・職員の業績評価の実施と評価結果の反映を含めた人材マネジメントシステムの確立

### 3. 人材の育成を円滑に推進する体制の整備

- ・人材育成プログラムの実施にあたり体制の整備の留意点を以下の8項目で整理
  - ①研修、教育、指導体制の充実、②在外研究制度の活用、③博士号の取得促進、④若手研究者の適切な指導システムの確立、⑤多様な研究者が活躍できる環境の整備
  - ⑥研究者の年齢に応じた人事システム（ライフステージに応じた方針）の整備、⑦外部機関との研究交流並びに共同研究の促進、⑧インタープリタ、コミュニケーターを養成・活用する体制の整備

### 4. 研究者の人材育成における標準的な事例

- ・想定される研究者6タイプについて人材育成のイメージを整理
  - ①生産現場適用型研究に対応した研究者の育成、②企業との共同研究・開発に対応した研究者の育成、③育種型研究に対応した研究者の育成、④ライフサイエンスなど基礎的研究に対応した研究者の育成、⑤行政施策に対応した研究者の育成、⑥国際的に活躍する研究者の育成

### 5. 研究管理・支援部門に携わる人材の育成における標準的な事例

- ・研究管理・支援部門に求められる人材育成のイメージを整理
  - ①研究管理部門における人材の育成、②研究支援部門における人材の育成、③農林水産技術コミュニケーター、インタープリタの育成

### 6. 人材育成に関するフォローアップ

- ・本プログラムの決定後、各独法は速やかに独自の人材育成プログラムを策定し、第2期中期計画の中間評価等で人材育成の進捗状況を把握するとともに、人材育成プログラムを適宜見直す。